

様式 4

令和 8 年度第 1 回 富士見市介護保険事業推進委員会 議事録							
日 時	令和 8 年 5 月 2 8 日（木）		開会 午後 1 時 3 0 分 閉会 午後 3 時 0 0 分				
場 所	市民総合体育館 3 階 多目的室 1・2						
出 席 者	委 員	日 鼻 委 員	鳥 羽 委 員	任 委 員	平 澤 委 員	武 長 委 員	
		○	欠 席	欠 席	○	欠 席	
		田 中 委 員	森 委 員	松 本 委 員	古 内 委 員	市 川 委 員	
		○	○	○	○	○	
		橋 本 委 員	伊 垣 委 員	佐 々 木 委 員			
		○	○	○			
	関 係 者	高齢者あんしん相談センターむさしの管理者 武田 高齢者あんしん相談センターふじみ苑管理者 須賀 高齢者あんしん相談センターえぶりわん鶴瀬 Nisi 管理者 三浦 高齢者あんしん相談センターみずほ苑管理者 吉田 高齢者あんしん相談センターひだまりの庭むさしの管理者 土川 各高齢者あんしん相談センター運営法人会計担当者					
	事 務 局	健康福祉部 鈴木部長、須藤副部長 高齢者福祉課 島田課長、長谷部副課長、阿部副課長 松尾主査、味戸介護保険係長 早川主事 健康増進センター 山崎所長、平副所長					
公 開 ・ 非 公 開	公開（傍聴者 1 名）						
内 容	《委嘱状交付式》 1 委嘱状の交付 《令和 8 年度第 1 回介護保険事業推進委員会》 1 開 会 2 諮問 3 自己紹介など （1）委員自己紹介 （2）新任職員紹介 4 報告・説明 （1）第 9 期高齢者保健福祉計画進行管理（進捗状況）について （2）第 1 0 期高齢者保健福祉計画骨子案について （3）第 1 0 期高齢者保健福祉計画案（第 1 章・第 2 章）について						

	(4) 令和8年度会議スケジュールについて 5 議 事 (1) 令和8年度各高齢者あんしん相談センター事業計画について (2) 令和8年度各高齢者あんしん相談センター収支予算書について (3) 地域密着型サービスの施設整備に係る募集要項について (4) その他 4 閉 会
議 事 内 容	
【介護保険事業推進委員会委嘱交付式】 1 委嘱交付式 (1) 新委員委嘱 市長から委嘱状を交付 【第1回介護保険事業推進委員会】 1 開会 事務局より出席委員の数が定足数を満たしていることの確認後開会を宣言 2 諮問 市長より第10期富士見市高齢者保健福祉計画策定の諮問 3 自己紹介など (1) 委員紹介 平澤委員より挨拶と自己紹介 (2) 新任職員の紹介 事務局となる健康福祉部新任職員の紹介 4 報告・説明 (1) 第9期高齢者保健福祉計画進行管理（進捗状況）について 事務局から資料2に沿って第9期富士見市高齢者保健福祉計画進捗状況について説明。 (2) 第10期高齢者保健福祉計画骨子案について 事務局から資料3に沿って第10期富士見市高齢者保健福祉計画骨子案について説明。 (3) 第10期高齢者保健福祉計画案（第1章・第2章）について 事務局から資料4に沿って第10期富士見市高齢者保健福祉計画案について説明。 (4) 令和8年度会議スケジュールについて 事務局から資料5に沿って令和8年度会議スケジュールを説明。 5 議事 (1) 令和8年度各高齢者あんしん相談センター事業計画について (2) 令和8年度各高齢者あんしん相談センター収支予算書について 各高齢者あんしん相談センター管理者から資料6、会計担当者から資料7に沿って説明。 <質疑等>	

- ・委員 感想を含めてなんですけれども、今年度からふじみ苑さんの方に積算方式の増額も認められて、皆さんの人件費が軒並み増額になったので皆さんさっきおっしゃっていましたが、人員体制の安定的な確保とか、継続にこれが繋がればいいなと思いました。その上で一つ細かいことかもしれませんが伺いたいと思います。第1圏域むさしのさんの、事務費支出、その中で広報費支出、こちらが前年度は特に科目立ての予算はなく、今年度から33万円計上なさっているのですが、これはこういったものに使うと思って今回計上したのか教えてください。
- ・高齢者あんしん相談センター 広報費支出につきましては、求人広告サイトの費用となっております、法人全体で介護、福祉業界に特化する求人サイトの包括の按分費用となっております、第1圏域および第5圏域で計上しております。
- ・委員 次に渉外費支出、こちらも予算全体ではなく、今年から1万円で、ひだまりの庭さんも3万円今回新たに計上されているんですが、これは何の目的か教えてください。
- ・高齢者あんしん相談センター こちらに関しては、職員の慶弔などに関しての費用でございまして、前年度はなかったのですが、今年度は少し計上をさせていただきました。
- ・委員 最後にむさしのさんに伺いたかったのが、当期資金収支差額合計、こちら結果、当年度は410万円ほど残されるということだったのですが、前年度は区分間繰入金支出を入れて他の事業にお金を動かさないようにしたのですが、今回は400万円を残すってということになりますか。
- ・高齢者あんしん相談センター 今回の予算案として、現状になりますが補正等を組まさせていただきます、区分間繰入支出で法人本部の事務員の人件費等を振り分けていきたいと思っております。
- ・委員 次にふじみ苑さんの収入ですごいなと思ったのが、居宅介護支援介護料収入、介護予防のかたたちのプラン収入になるかと思うのですが、こちらが今年度予算額360万3000円に対して、前年度が234万2000円で、差額としては126万円ほど増額になっていて、すごく頑張れるなというふうに思ったのですが、この理由を教えてください。
- ・高齢者あんしん相談センター 現在のプラン数が、平均で月40件前後ですけど、その前後が今年度どうなるか。増加してしまう可能性もあるし、フレイル予防とか健康増進センターさんと一緒に活動することでプラン数を少し減らして、地域のインフォーマルサービスの方に繋いでいけたらなというところもあるのですが、ちょっと読めないところがありましたので、予定で件数を多めに設けさせていただいているというところになっております。
- ・委員 支出ですが、昨年度、科目だけで概算がなく、今年度予算ができたもので二つ伺いたいのですが、事務費支出のところで、印刷製本費支出（事務）が17万4000円新たに計上されています。あと、広報費支出が10万円新たに計上されていまして、これは何か目的があって計上されたのでしょうか。
- ・高齢者あんしん相談センター これまでこういった経費を全て本部事務局の方で持たせていただいていたのですが、今回適正配分ということで、トナー代や紙代等を印刷製本費に含めさせていただいております。昨年の使用量を管理して算定をしております。広報費支出に関しては、同じように包括のチラシや行事のチラシ作成代等を予定しております。

- ・委員 全体的にえぶりわん鶴瀬 Nisi さんの場合、事業活動支出計の予算額のところで見ますと 3027 万 6000 円になっていて、前年比から 301 万 1000 円減になっていると思うんですね。主には人件費 200 万円の減ですが、前年度予算で事業費支出でも、車両費をガソリンなどに計上されていると思うのですが、事業にかかる費用も減額なさっていて、本体事業の事業活動の予算減で、事業が立ち行かないなどの心配はないのかなと思ったのですが、どうでしょうか。
- ・高齢者あんしん相談センター ご心配ありがとうございます。前年度予算額はあくまでも予算でありまして、補正予算で支出に適正な予算計上をギリギリまで落としてしまいますと、大変なことになりまして。前々年度ぐらいに、科目流用じゃ足りないぐらい予備費を使うような、法人全体で会計処理が必要になった経緯から、前年度予算額に対しては更正減、昨年度はほとんどしていない状態での予算です。今年度につき、前の予算につきましては令和 7 年度ギリギリまで執行している額を見極めて計上したのでかなり落ちています。そのことの積み重ねだと思います。なので、来年度の予算額にすると、決算はかなりいい数字になるのかなと思い、計上した結果がこのような形です。
- ・委員 ちなみに事業費支出、事業に関する費用の支出項目だと思うのですが、例えば包括職員の方が移動するガソリン代ですとか、あとは事業に使うような消耗器具備品を、支出の科目とかで買うものはないのですか。
- ・高齢者あんしん相談センター 車両費支出につきましてはもちろんあるのですが、申し訳ございません。計上漏れになっております。公用車を使っておりますので、適正なガソリン代を計上した補正予算で対応するつもりでございます。その他事業に関しましてはもちろんございますが、事業費に関してオレンジカフェとか地域の圏域会議へのものぐらいですので、必要に応じて計上して補正予算で対応させていただきたいと思っております。
- ・委員 その上で、その他の活動に支出のところで拠点区分間繰入金支出、前年度なかった科目で新たに別の会計の方に 279 万 5000 円移動する科目を使えたじゃないですか。その上で資金を出されて、当期資金収支差額合計、これがマイナス 67 万のマイナス予算になっているんですけども、それは大丈夫なんですか。
- ・高齢者あんしん相談センター 特に包括だけのお財布を持っているのではなくて、会計が 9 つあり全部一つの通帳でやっております。数字上はマイナスですけど、資金はそれなりに心配ございません。ただ、この包括をやる数字で見るときに、事業がどうなっているのかというところで、操作してプラスマイナスゼロにするよりはこの方がいいのではないかと、という判断でこのような形状のままにさせていただいております。また、このことについても顧問の税理士さんと相談しながら判断しているところです。
- ・委員 確かにお金は同じ口座に複数事業入っていれば資金ショートを起こすことはないと思うのですが、会計上サービス区分一つの予算として立てる上で、マイナス予算というのはそもそも厚生労働省も許容していないのではないかとこの気はするんですね。例えば当期マイナスだったとしても、前期末支払資金残高、前年度までの合計がプラスであれば、差し引きしてプラスもありだと思えるんですね。もしくはなかったとしてマイナス予算でも、積立とかどこか他の会計から入れて、何とかなるならいいと思うのですが、これだと当初予算でマイナス予算出してしまっているの

で、お金を支出するときに帳簿上出せなくなるのではないかなと思うのですが。そこがちょっと心配だなと思います。

- ・ 高齢者あんしん相談センター ご心配ありがとうございます。他の経理区分も、例えば特養も私共は地域密着で 29 床という制限の中でやっているとはやはりマイナスになってしまう。逆に小規模多機能だと、かなりプラスになっているので相殺した本部という形で見ておりますのでこのような形になる。また今までの補助金、包括の委託料をやっていた性質上、足りないと訴えたいわけですよ。追加で増額して欲しいみたいな。そんなアピールの癖も正直残っているかもしれません。
- ・ 委員 最後に一点だけ。例えば、拠点区分間繰入金支出を 279 万 5000 円ではなく、赤字の 67 万 1000 円を 0 になるような金額で繰入金のお金を出す金額を減額するのは難しいでしょうか。
- ・ 高齢者あんしん相談センター やっぱり按分の根拠としてちゃんと支出は残した方がいいのかなと。その年によって按分率を変えるということは考えてないので、はいこのような数字が出ましたというような形です。
- ・ 委員 みずほ苑さんの金額は全然大きくないのですけれども、事業費支出の教養娯楽費支出が 3 万円新たに今回計上されていますが、これはどういったもので計上なさったのでしょうか。
- ・ 高齢者あんしん相談センター こちらについては地域向けのお祭りに関して費用を計上しております。

(3) 地域密着型サービスの施設整備に係る募集要項について

- ・ 事務局より資料 8 に沿って説明

<質疑等>

- ・ 委員 例えば、市内に老人福祉施設が何ヶ所ぐらい増えたらいいとか、増やしたいとか、そういう何かあるのでしょうか。
- ・ 事務局 市内の待機者数の総数が約 100 名弱でございます。これはゼロにするということは考えておりませんで、70 ぐらいが妥当かなと思っておりますので、とりあえず 29 の施設を 1 棟を建てたいというふうに考えております。
- ・ 委員 結構、応募しそうな気配があるのですか。
- ・ 事務局 気配は正直言って、この 2~3 年業者さんの相談が全くない状態ですので、公募しても来ないのではないかなという感じは持っています。その場合は、募集期間を適宜ずらして、再公募させていただきたいと思います。昨年も同様に、看多機の公募について、ここで諮らせていただいたのですが、結局 1 社も来ず、今、再度再公募をしている状態でございますので、なかなかやはり経営したいと思っても人が来ないという面もありますから、事業者さんにとってもなかなか厳しいというのは、想像できるころではあるのですけれども。ただこちらとしてはですね、入所がこれから団塊の世代の方が今 76~77 歳と到達しまして、これからそういった人たちが医療のニーズが増える、医療が終わった後の特養のニーズが増える、というふうにこちらでは思っていますので、やはり募集はせざるを得ないかなというふうに考えております。

4 閉会

委員長より閉会のあいさつ